

# 芦別市立上芦別小学校

## 1 学習活動の概要

本校では、総合的な学習の時間において、日本遺産「炭鉄港」を学習教材として、子どもたちにふるさとの炭鉱の歴史を伝え、地域の未来を考える学習を行うなど、ふるさとへの愛着や誇りを育む授業実践に取り組みました。

## 2 学習活動の様子

### (1) 資料等を活用した探究的な学習活動

昔の芦別市内の住宅地図などの資料を活用し、当時の人々の暮らしと石炭の関わりが深いことや、石炭採掘の最盛期に栄えていた芦別市の様子など、ふるさとの産業と暮らしの変化について、探究する学習活動を行いました。

また、鉄道や港湾の歴史について調べ、炭鉄港の歴史が、それぞれ北海道の発展に寄与してきたことについて理解を深めました。



【新旭炭鉱高根沢露天坑】

### (2) 地域の人的・物的資源を活用した取組

芦別市にある新旭炭鉱高根沢露天坑や実際に炭鉱で使用されていた大型掘削機械等を展示している自走柁整備工場の見学、市役所職員による炭鉱遺産についての説明を通して、ふるさとの発展を支えた産業などについて理解を深めるとともに、これからの芦別市の未来について、グループで考えをまとめ、提言を行いました。



【自走柁整備工場の見学の様子】

### 【アンケート結果】

「自分が住んでいる北海道や芦別市は好きか」の設問に対して、全ての子どもが肯定的な回答をしました。

## 3 Naviポイント

- 地域の歴史や産業に関する施設や人材との関わりを通して、子どもたちのふるさとに対する興味・関心を高める探究的な学習活動を展開することが大切です。
- ふるさとに対する愛着や誇りを育むとともに、地域の発展のために自分ができることについて考えを深めることができるよう、学んだことをまとめ、その成果を基に新たな課題を考える学習活動を位置付けることが大切です。